

固定資産明細表の出力について

勘定科目設定にて

各固定資産の下に（〇〇減価償却累計額）という科目を追加してください。

科目コード	科目名	FigA	FigB	FigC	小科目	補助科目	FigG	FigH	消費税
11000	固定資産	3	1	0					
11100	有形固定資産	2	1	0					
11110	土地	0	1	0				22	
11120	建物	0	1	0				22	
11121	（建物減価償却累計額）	0	1	0					

繰越金設定にて

建物には建物取得価額を入力して、（建物減価償却累計額）にはマイナスで累計額を入力してください。

code	科目名	期首繰越
11000	固定資産	26,700,000
11100	有形固定資産	26,700,000
11110	土地	10,000,000
11120	建物	20,000,000
11121	（建物減価償却累計額）	-9,000,000
11140	構築物	5,000,000
11141	（構築物減価償却累計額）	-2,500,000
11150	教育研究用機器備品	6,000,000
11151	（教育研究用減価償却累計額）	-3,600,000
11160	その他の機器備品	
11161	（その他の機器備品減価償却累計額）	
11170	図書	600,000
11180	車両	1,000,000
11181	（車両減価償却累計額）	-800,000
11190	建設仮勘定	

決算期の減価償却計上の仕訳

減価償却費／〇〇減価償却累計額

・・・減価償却累計額はマイナスで増えていきます。

固定資産の廃棄時・売却時の仕訳

例1) 取得価額 20 万円で、減価償却累計額 -19 万 9999 円のパソコンを廃棄した場合

減価償却累計額／機器備品 199,999

機器備品廃棄損／機器備品 1

例2) 取得価額 100 万円で、減価償却累計額が -80 万の車両を 30 万円で売却した場合

減価償却累計額／車両 800,000

現金／車両 200,000

現金／車両売却益 100,000